慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	服部鐘宛福澤諭吉書翰
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1953
Jtitle	史学 Vol.26, No.3/4 (1953. 6) ,p.161(307)- 161(307)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19530600-0161

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

アウグスチヌスの世界終末觀の問題　近山金次氏

第四一五回例會

昭和廿八年五月二十日午後三時　於六番教室

ノヴァーリスに於ける個體思想の成立　高橋巖君

日本數學思想と現代　福與晃君

奈良時代に於ける庶民の佛教　志水正司君

國史談話會報告

第四九回例會卒業生送別會

昭和廿八年三月二三日午後五時　於豐岡會館

第五〇回例會新入生歡迎會

昭和廿八年五月二六日午後三時　於三田松菱

服部鍾宛福澤諭吉書翰

秋冷之時節相成候處いよ〳〵御機嫌よく目出度存候陳ハ今度中津銀行之始末出來私も請取候金子有之候間其内金九拾圓（此内ニ手數料等少々引ケハ可有之）差上候間平生之暮しを少々ニ而もゆるやかニ被成をり〳〵は御ほよふ相成度私之存命中ハ決して御難澁はかけ不申小田部中上川ニは不自由なきゆゑ其まゝ差置候得共若し萬一も不時之災難ニ而こまることもある節には姉樣三人丈ケハ私ニ而屹度引受候覺悟ニ御座候兄弟姉妹となれバ何か緣の遠き樣に見へ候得共父母の目から見れバ同じ子供ニ而そのかわいさは同樣に御座候唯今兄弟之中ニ而私が一ばん仕合せ宜しく候間父樣母樣ニ代りて兄弟丈ケ之世話ハ致す積り世間ハイザ知らず是れハ福澤の家風父母之教の遺りたるものと存候

又此度お一へ三百圓遣し候是れハ同人事幼少之時より父をうしなひ母ニ別れ不幸之中ニも先ツ〳〵田尻ニ緣付き子供も出來身の落付たるニ付而は少々ツゝほよふ致させ度其邊の意味今度手紙ニ而竹之助へも申遣置候間宜敷御氣を付ケ被下度奉願候

右用事のみ申上度あら〳〵如此御座候かしく

（明治）
二十年十月十四日　諭吉

服部　姉樣

尙々私方家内一同ぶじおきんよりも宜敷申上呉候樣申聞候以上

（服部三郎氏所藏）